

第2号議案

平成20年度事業報告

<概要>

平成20年の前半から、ようやく原油価格の高騰に歯止めがかかり、景気回復の兆しが見えたかと思われた矢先、米証券会社大手の破綻により、100年に一度と言われる世界経済危機に陥り、国民に対する不安心理を高める最悪の年となりました。

特に、景気がいつ底を打つのか先が見えない状況下で、企業等の雇用情勢は一段と厳しさを増し、正社員を含めた非正規（派遣）社員の人員削減が本格化し、製造業を中心とした生産稼働の抑制により、賃金が大幅に減少し消費が一段と冷え込みました。

当シルバー人材センターにおいても平成20年度の下半期以降から、民間企業を中心に請負契約の打ち切りが相次ぎ、シルバー人材センター事業全般に大きな打撃を受ける結果となりました。

こうした厳しい状況の中、新規受託事業の拡大を図るため、マスメディア等を積極的に活用し、事業普及啓発活動に努めてまいりましたが、この厳しい経済状況を打開することが出来ず、契約金額については11億7千2百53万円（3.3%減）と設立以来初の約4千万円の減少となり、就業延人員も前年度比1.6%減と大幅な減少となりましたが、受託件数については、単発業務の増加により、前年度比3.5%増となり、一部面目を保つことができました。

また、会員数の増加については、地区班活動を中心とした入会促進への意欲が高まり、マスメディアによる宣伝効果により、一部地域で目立った増加があり、前年度比3.6%の増となり、全国の会員数100万人目標達成に向けて大きな弾みとなりました。

なお、政令指定都市を見据えた組織の再編については、事務処理の効率的かつ効果的な運営を推進するため、現城山支所を改装し、事務所の統合に向けた準備を着々と行うことができました。

安全就業につきましては、広く会員から安全標語の募集を行い、3月の通常総会で新たな安全標語を披露することが出来ました。また、草刈機械使用による事故防止策として就業前に危険予知対策を講じるとともに、現在就業している会員を対象に「刈払機取扱作業安全衛生教育」を実施し、受講終了後、修了免許証を交付し、安全意識の高揚を図るとともに、就業に対する安全意識の必要性を再確認することができました。

1 事業実施状況

(1) 高齢者の就業に関する調査及び研究

- ア 上半期の未就業会員688人を対象に、地区役員による聴き取り調査を実施し、就業希望職種及び健康状態を把握し、就業の提供に努めました。
- イ 通常総会の委任状の中で、近況の健康状況について調査を行うとともに、定期的な健康診断の受診を励行いたしました。
- ウ 「シルバー便利屋」を立ち上げるため、地区長会議及びブロック会議等を通じ、立ち上げの趣旨等を説明するとともに、グループ就業の必要性を理解していただきました。

(2) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供

- ア 会報「いきがい」を発行し、会員等に各種情報の提供を行いました。
 - ・発行回数 年4回(4月・7月・10月・1月)
 - ・発行部数 各回 4,000部
- イ 市の広報紙に受注開拓及び会員入会促進の記事を掲載し、広く市民に情報の提供を行い、受注の拡大に努めました。
- ウ 神奈川県の高齢者就業支援課が提供するテレビ番組「コンシェルジュ神奈川」の中で、当シルバーの活動の様子を放映し、働くことを通じて活力に満ちた地域社会の実現に貢献することなどを紹介しました。
- エ ホームページを活用し、未確定就業の業務内容を掲載するとともに、より身近なホームページになるよう、季節ごとに市内の名所写真を掲載し、積極的にシルバー人材センターを紹介しました。
- オ 旧津久井方面に対する情報を提供するため、神奈川中央交通バスの車内で当センターの名称等を1年間放送する契約を締結し、情報の提供に努めました。

(3) 高齢者の就業に関する相談業務

- ア 各事務所にて、毎月1回の配分金支払日に就業相談を実施するとともに、常時、窓口にて就業希望会員の相談に応じました。
- イ 地区別懇談会を通じ、現状の就業状況等について説明を行うとともに、必要に応じ、個々の会員に対し就業相談を実施しました。

(4) 高齢者の就業機会の開拓及び提供

- ア シルバー事業の宣伝が思うように提供できないことから、タウンニュース(津久井版)に記事を掲載し、就業機会の拡大及び入会促進を促した。
- イ 当センターの車両のボンネットにマグネット板を張り、会員の募集及び

センター事業のPRを行いました。

ウ センターPR用のリーフレット（素敵なくらしのお手伝い）の全世帯配布事業を会員により実施し、高齢者の就業機会を拡大するとともに、新規入会者の促進を図り、事業普及啓発活動及び新規受託事業の開拓に役立てました。

就業会員	570人	配布部数	254,904部
------	------	------	----------

エ 契約金額の減少を最小限に抑えるため、職員が中心となり各主要地区にパンフレットを配布し、受託事業の拡充に努めました。

オ 10月19日「シルバーの日」に合わせ、全地区一斉に清掃ボランティア活動を中心に事業普及啓発活動を実施し、広く市民に対し、シルバー人材センターの存在をアピールするとともに、ラジオ放送でも事業の意義を宣伝し、事業の永続的な活動に努めました。

(5) 高齢者のための無料職業紹介事業等

ア 県シ連が主催した一般労働者派遣事業研修会に年6回担当職員が出席し、派遣事業の問題点及び改善策を協議するとともに、当センター職員が講師となり、未実施シルバー・事業団の職員に対し講義を行い、派遣事業の実施申請を促しました。

イ 無料職業紹介事業の資格取得講習会に職員3名が参加し、資格を取得しました。

(6) 高齢者のための技能研修及び各種講習会

高齢者の生きがいの充実及び受託事業を確保するための知識や技能の習得、向上を目的として次のとおり各種技能講習会及び資格取得のための講習会を実施しました。

ア 高齢者能力活用施設講習会

講習会名	期 間	内 容	参加人数	講 師
ビーズ編み	6月17・18日	一輪花ネックレス作製	20人	会 員
はじめよう水彩	6月19・20日	絵手紙に描く水彩画	8人	会 員
網戸張り	6月24・25日	網戸の張替え	23人	会 員
刃物研ぎ	6月30日	刃物(包丁)研ぎの基本	11人	会 員
初心者カメラ	10月8・9日	コンパクトデジタルカメラの撮り方	8人	会 員
男の料理	10・11・12月	手軽に出来るメニュー	延43人	会 員
健康体操	10月20・21日	気軽な健康体操	24人	専門講師
初心者の書道	11月18・19日	年賀状の書き方	20人	会 員
布ぞうり編み	11月18・19日	布ぞうり編み	10人	会 員

イ 会員技能習得等講習会

講習会名	期 間	内 容	参加人数	講 師
接客・接遇	5月～6月	コミュニケーションの大切さ	60人	専門講師
手刈除草	7月22日	手刈りと刈払機使用の座学	21人	会 員
草刈機械操作	7月23・24日	刈払機実習	20人	会 員
植木の手入れ	7・10月	植木の整姿、剪定及び安全就業	17人	専門講師

ウ

講習会名	期 間	内 容	参加人数	講 師
ホームパ - 2級養成	8月～9月	訪問介護養成研修	42人	専門講師

(7) 安全就業対策

草刈作業における事故防止策及び作業別安全就業規則の見直しを行うとともに、交通事故防止の知識等を習得するための事業を実施しました。

ア 全シ協から提供される安全・適正ニュースを参考に、事故発生率の高い作業を分析し、就業現場巡回等を通じ注意を促し、安全就業の把握及び再確認を行いました。

イ 安全適正就業対策会議を緊急に開催し、事故発生の問題点及び対応策を協議し、安全防止策として受託制限を設けるとともに必要な用具等を購入した。

ウ 今年度に発生した事故内容を事務所の掲示板等に掲載し、安全意識の高揚を図りました。

エ 県シ連が主催した安全対策研修会に安全就業推進員が参加し、交通安全に関する基礎知識及び日ごろの健康管理の必要性を認識しました。

また、運転業務に携わっている会員を対象に、シミュレーションによる危険予知能力・反応時間の検査による運転適性検査を実施し、交通事故を未然に防ぐための体験を行いました。

オ 会報「いきがい」を通じ、安全標語の募集を行うとともに、新たに採用された標語を垂れ幕にし、第42回通常総会にて表彰を行うとともに、総会の横看板に垂れ幕として披露しました。

カ 安全管理対策員就業現場巡回等

時 期	6月～7月
巡 回 現 場 数	94ヶ所
巡 回 対 策 員 数 等	48名

キ 就業途上における事故防止ゼロを合言葉に、地区別懇談会等を通じ交通规则の励行等を指導しました。

(8) 地区班活動の充実・強化等

- ア 迅速かつ親切で丁寧な仕事の受注を図るため、地区ごとに「シルバー便利屋」を立ち上げるとともに、地域情報誌を活用し、利用促進を促しました。
- イ 理事及び地区長との情報交換を密に行えるよう、ブロック会議を開催し、シルバー事業の現状と課題等について協議を行うとともに、会員同士の親睦会を地区あるいはブロックごとに行いました。
- ウ 会員の入会を促進するため、「会員拡大地区表彰実施要綱」を作成し、会員増強に一助として実施することが決定しました。
- エ 政令指定都市への移行を見据え、職員の配置を含めた組織の再編及び事務所の統合等について検討委員会を発足し、3事務所、3連絡所体制での組織運営の推進を決定いたしました。

(9) 会員の福利厚生事業

会員相互の親睦・交流を図るため、各ブロックごとに会員交歓会を開催しました。

また、会員の自主性、主体性を推進するため、会員福利厚生委員による企画・立案により、会員参加型の会員親睦慰安旅行を実施しましたが、参加費の振込用紙(手数料)を含め、反省点についての改善策も協議しました。

事業名	開催日	場所	参加者数
会員親睦慰安旅行 (1泊2日)	9月8・9日	静岡県 伊東温泉 サンハトヤホテル	217人
会員交歓会 (日帰り)	2月18・19・20日	千葉県 房総方面 ホテル太陽	583人

(10) その他

政令指定都市への移行を見据え、組織再編検討委員会を発足し、事務所のあり方や職員の定数配置等について協議を行うとともに、将来展望を見据え固有職員を中心とした自主的・主体的な運営を推進するため、規程の改正を行いました。

また、北事務所との統合を行うため、城山支所の改修工事を行いました。